

母さんへ

ラジオネーム…としはる

母さん。こうして手紙を書くのは、いつ以来だろうか。

一人の生活はなかなか寂しいもので、母さんの存在と

いうのは、いかに大きかったか痛感しているよ。

定年退職するまでは、私は本当に仕事人間で、

ゆっくり母さんと話す事もしなかったね。

毎日何も言わず、どんな時も笑顔で私を支えてくれた。

そんな母さんに、私は何もしてあげられなかった。

退職して初めて二人だけでのんびり行った温泉旅行が、

まさか最初で最後になるなんて想像もしていなかったよ。

これから母さんとゆっくり、のんびり毎日を過ごそう。

そう思っていた矢先だったのに、癌の再発は

本当に悔しかった。

何より、今まで母さんに何もしてやれなかった自分が、

どうしようもなく腹立たしかった。

入院中もずっと付き添って、日に日に口数が減っていく

母さんを見ていて、後悔が押し寄せてきた。

最期を看取ってから、葬儀も気づいたら終わっていて…。

当時は子供達にすこく心配されていたけれど、

孫たちの笑顔に囲まれて、何とか今こうしてやってるよ。
家事もゴミ出しも、昔の私からは絶対に想像も出来ないと思
うが、頑張ってるよ。

たまに曜日間違えてしまうけど、ゴミ出しも慣れたものだ。

最近は孫達にも、じいちゃんの料理は評判良いんだぞ。

でもな母さん、たまには母さんの味を食べたいよ。

同じ材料で作っても、母さんの味にはならない。

私も孫達の成長を見守った後、そう遠くないうちに

そっちへ行くだろう。

そしたら母さん、その時は今度こそめっくら過いそつ。

口に出した事は一度もなかったけど、

母さん、感謝しているよ。ありがとう

リクエスト曲

＜ しあわせのランプ ＞ 玉置浩二